

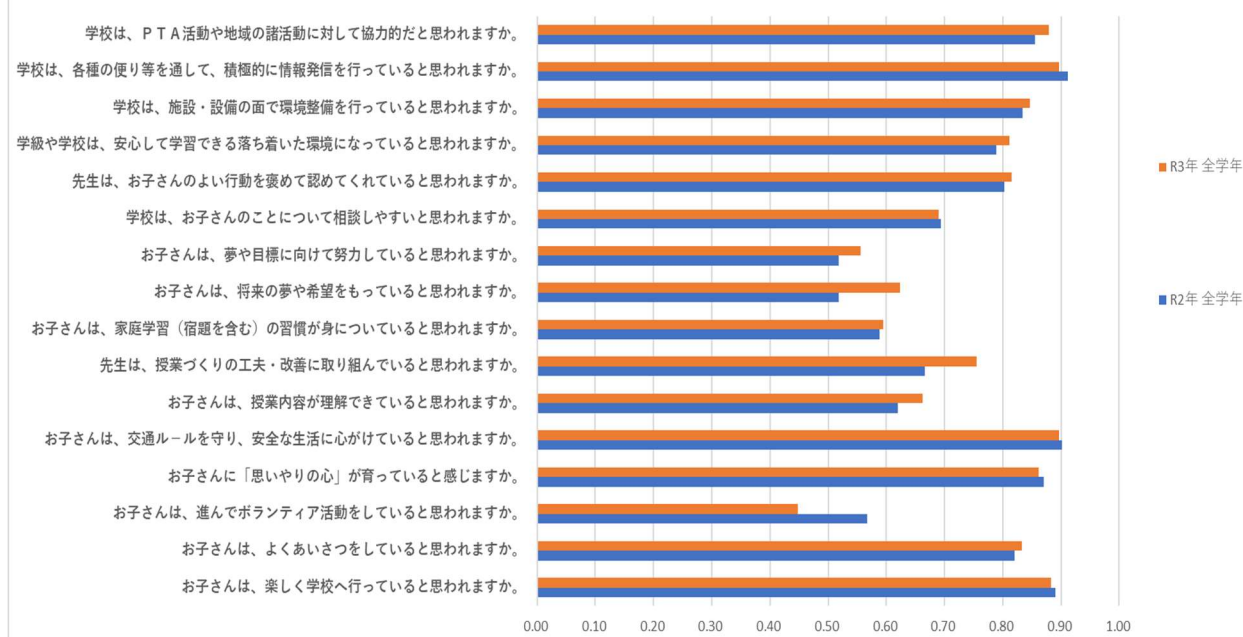
令和3年度 教育アンケート 結果とまとめ

余寒の候、保護者の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素より本校教育に対しまして、ご支援とご理解をいただき深く感謝申し上げます。

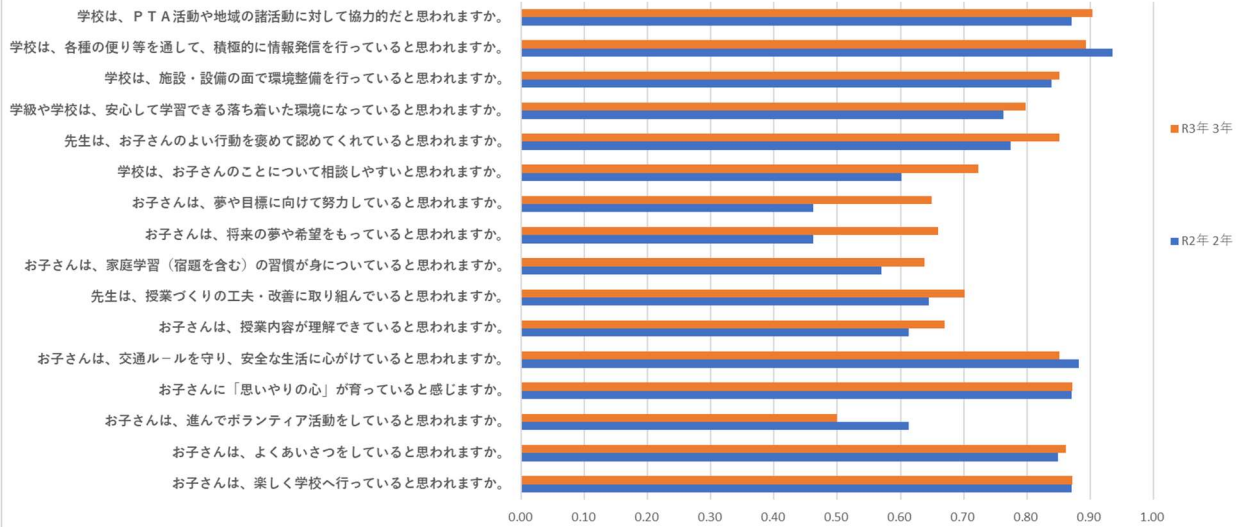
さて、11月に実施いたしました「教育アンケート」につきましては、お忙しい中、ご協力をいただき誠にありがとうございました。つきましては、次のようにアンケートのまとめができましたので、ご報告いたします。このアンケートの結果は、全教職員で共有し、検討・協議をいたしまして、令和4年度の本校教育の充実に努めてまいりたいと考えておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

《まとめ》昨年同様に、今年度も新型コロナウイルス感染症対応による様々な行事の延期や中止、変更といった年で、学習活動への制限や学校生活への制約が日々の学校での新しい日常として進められた年でした。そうしたことで、今年度も例年とは違うアンケート結果になったように感じられます。また、簡単に経年比較ができる結果でもなく、学年間でもずいぶんと結果に違いが見られました。アンケートでは、3年生で3つの項目を除いて前年を上回る経年変化が見られました。全体では、16項目中9つの項目で前年を上回るという結果となりましたが、項目3「ボランティア」については、コロナ禍が影響してかどの学年も前年を大きく下回っていました。例年課題となっていた項目「将来の夢や希望をもち目標に向けて努力している」については、質問項目を「将来の夢や希望を持っている」と「夢や目標に向けて努力している」とに分けましたが、両項目とも昨年度を上回りました。また2年連続して下がっていた項目7「授業作りの工夫・改善」については、3学年ともに上がり、タブレット導入やICT機器の活用に向けた取組が結果に現れ、ひいては、項目6の「授業内容の理解」の結果にもつながっているのではと思っています。学校としましては、こうした結果と課題を、学校運営協議会委員や教職員による反省や課題、成果もふまえた学校評価とし、来年度の里庄中学校の教育方針、重点目標として取り組んでまいりたいと考えています。どうか引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

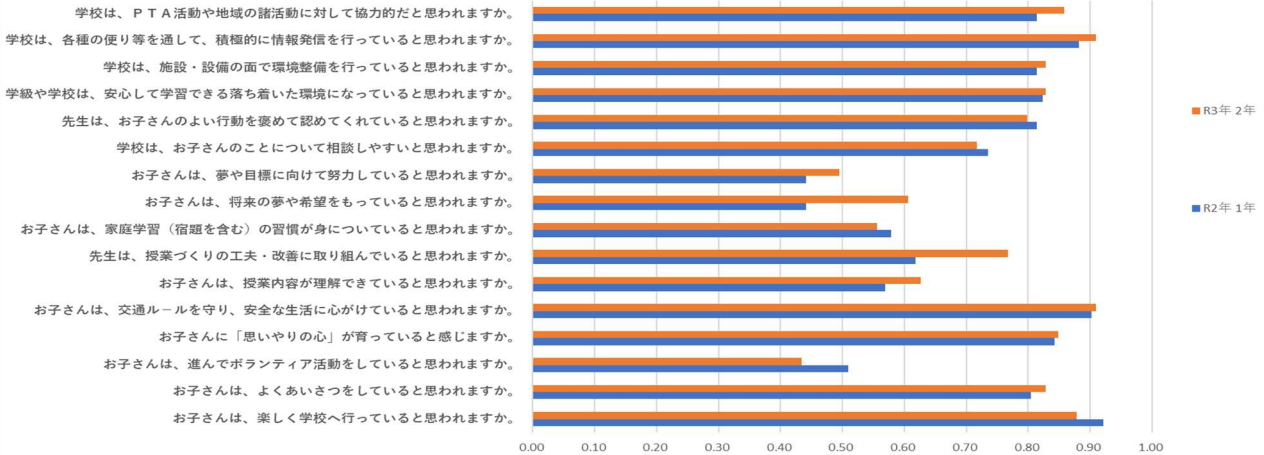
令和3年度「教育アンケート」経年比較 全学年



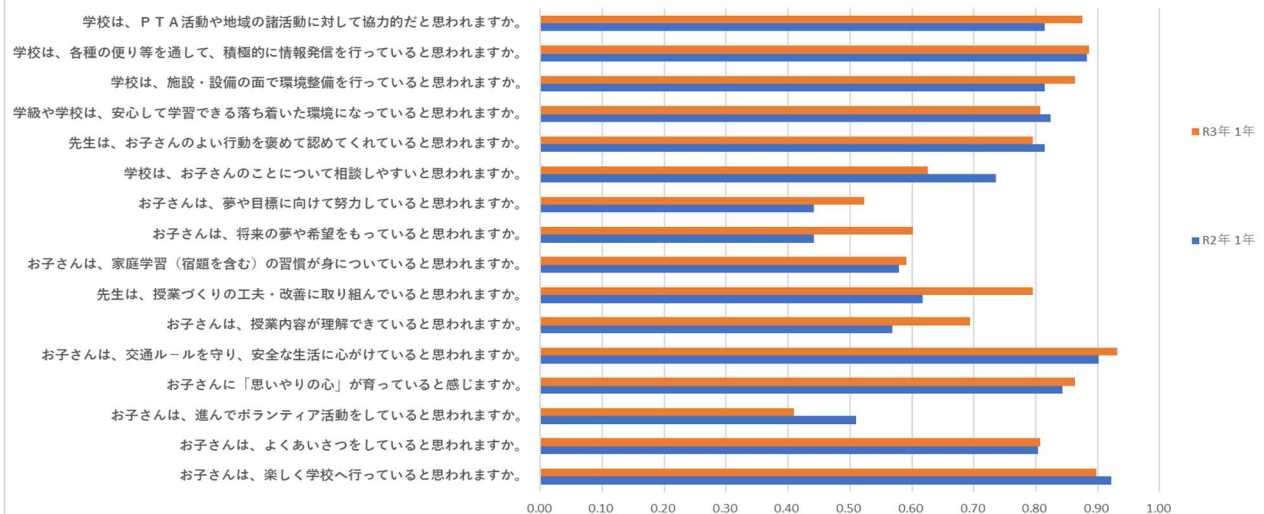
令和3年度「教育アンケート」経年比較 3年



令和3年度「教育アンケート」経年比較 2年



令和3年度「教育アンケート」経年比較 1年



R3年度 「教育アンケート」

記述欄への回答(案)

〈学習・考査について〉

◇R3学習（学校・家庭）や◇授業について

今学校では、教職員の働き方改革がいわれ、子ども達を取り巻く学習環境も、一人に一台タブレットの導入（GIGA スクール構想）が始まり、新しい学習形態や様式に変わりつつあります。3年生の私立高校の入試事務がネット出願になったり、新しい新指導要領による指導事項や評価の観点が変わり評価の仕方も変わったりと、学習の仕方や学習形態をはじめ、学校は以前とはまだまだ違う新しいものに变化していくだろうと思われます。そうしたものの対応の中で、里庄中学校も行事や授業、テストや評価の在り方を変えていっています。中間考査(テスト)をなくしたことも、その変化のひとつといえます。もちろんただなくしてしまうのではなく、より学習へ向かう姿勢やテストがなくとも学習のクオリティーが高まるようにと考えて、放課後学習会や、各教科による学期間での単元テストの導入、自ら計画を立てての学習や自主学習、学習の振り返りや見直しを意識した授業改善や日々の生活の取組を行っています。新しい取組には、不安や心配がつきもので慣れるまでには時間のかかるものですが、様々な負担をなくしたと思っていても新たな負担が出てしまわないよう、子ども達の変化や配慮は、十分気をつけてこれからも行って参りたいと思っております。また、保護者の皆様方には、様々な教育活動や行事等の変更につきましては、迅速により多くの情報を提供していきたいと思っておりますが、気になることやお尋ねなどありましたら遠慮なくお知らせ、ご相談ください。

また、里中では、宿題や帰宅後のスケジュールを書き込む欄を設けた、里中独自の『生活記録ノート』を作成し、計画的に見通しをもった家庭学習や勉強と部活動、習い事との両立した生活ができるようにと取り組ませています。今後も、『生活記録ノート』の活用や週末課題、連休課題一覧などの取組を充実させていきたいと考えています。各ご家庭におかれましても、お子様がどんな学習計画を立てどう取り組もうとしているのか、どんなスケジュールでどんな目標に向かって過ごそうとしているのか、時にはご覧いただきながら、本校の取組にご理解とご協力、ご支援がいたたまれましたら助かります。どうかよろしくお願いいたします。

○テスト順位の公表 について

以前より定期テストの結果につきましては、得点分布グラフのみ示しています。点数や順位だけにこだわりすぎないようにということで、得点分布と自分がその分布の中でどの辺りにいるのかが分かり理解度を確認できるようにと配慮したものです。点数、順位の喜びより、がんばった努力への評価。子どもたちの方にも、そうしたことを話しています。ただ、どうしても知りたいという場合については、個別に順位をお伝えしています。そういった経緯と趣旨をどうかご理解いただき、今後も定期テストの結果につきましては対応していただければ助かります。なお、復習テスト(1・2年生は年1回・1月実施 3年生は年5回・年間通して)につきましては、順位をお知らせしています。

〈交通・荷物〉

◇R3〈交通・荷物〉について

○平成30年度から、教科書の大型化にともなう生徒の荷物の軽量化が問題となっていました。里中ではそれより以前から「重すぎないか？カバン！」ということで、学校に置いてよい教科書や資料集、学習用具というのを年度当初にまた、学期途中必要に応じて連絡してきました。さらに一昨年度、生徒指導部が、教科書や資料集、文房具等の重量を測定調査し、荷物の軽減の方法を検討して、各教科の先生方と協議し置いてよい荷物を増やしました。ただ一方で、不必要に大

きな筆箱や数個にわたる文房具類を見かけます。また、その日の時間割以外の教科書やノートといったものが余分に入っていたりすることも気になっています。今後も日常的な教材や学習用具、携行品の分量には注視し軽減化を考えていきたいと思っておりますが、どう見ても危ないという場面がありましたら、どうかその日に必要な最小限のもので登校させ、学校にご連絡くだされば幸いです。また、今一度持ち物につきましては、各ご家庭でもご確認とご協力をお願い致します。

○交通マナーについては、よく学校に苦情のお電話をいただきます。その都度、危険箇所や交通への注意喚起を促しています。特にご指摘の多い箇所は、郵便局前の旧道で、「道いっぱい広くなってなかなかよけてくれない」というものです。時には指摘のあった地区の通学生や道路工事における注意で関係の生徒を集めての指導も行っています。里庄中学校では、数年前に生徒が亡くなるという痛ましい事故がありました。それ以後、もう二度と同じことが繰り返されないよう、命を守ることを第一に少々厳しい注意もさせてもらっています。どうか、各ご家庭におかれましても、「ヘルメットの着用」「一列通行」「急の飛び出し注意」を徒歩通、自転車通にかかわらず毎日のお声がけをよろしくお願いいたします。

〈施設・設備〉

◇R3施設・設備について

体育館やトイレをはじめ校舎内外の施設・設備につきましては、必要な備品や消耗品、修繕箇所等を毎年予算請求し環境整備に努めています。予算のあることですので、要望した全てが叶うわけではありませんが、計画的に行っています。老朽化に伴い傷んだり気になる箇所が新たに見つかったりすることも多く、その都度安全面や使用頻度、子どもたちの学習や生活への影響度を考えて対処していますが、すぐに対応できないこともあるのが現状で、応急の処置を施している場合もあります。ただ、生徒たちを取り巻く学習、生活環境が落ち着いた安全で安心な空間になるよう意識して整備を怠らないようにと考えています。また、教育環境整備の事業として、タブレットの導入やそれに伴う各クラスのキャビネットやネット環境整備などがされています。教室空調や体育館空調もそのひとつです。教室のカーテンもICTに対応できるよう遮光カーテンに、蛍光灯も順次LED化しています。来年度に向けては、水道の直管工事や消防用ポンプを含む消防機器の改修工事が予定されています。どうぞお知りおきください。

〈行事・修学旅行〉

◇R3行事について 体育会について

修学旅行や校外学習、体育会などをはじめとする様々の学校行事は、中学校3年間、あるいは小学校を含めた義務教育9年間を見据えた教育活動として内容や計画、当日の日程等を毎年の反省や課題を検討し計画、実施しています。ただ、これまでになかった規模の災害や異常気象への対応、子ども達や時代の変化にともなったものへと変わってきてもあります。また、昨年度からの新型コロナウイルス感染症対応など、初めて経験することへの対策などもあり、年度途中でも抜本的にその活動を延期や中止、活動内容の縮減や変更を考えて対応しなければならない、やむを得ない場合もあります。これからは、時代を取り巻く変化ともあいまって、コロナ後がコロナ前と同じであるとの保証もない状況とも言えます。そうした中でも学校では、できるだけ子どもたち一人ひとりが自己有用感や肯定感をもち、集団としての達成感がもてる取り組みや活動を、様々なご意見を参考に状況を見ながら今後も計画、実施していきたいと考えておりますので、どうかご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

〈部活動〉

◇R3部活動について

部活動については、10年以上も前から、活動上の安全確保や活動場所、指導を含めた部活動運営の面から、部活動数の適正化を図ってきました。平成30年度末に部活動設置規程(里中のHP

に掲載)を定め、文部科学省や県、町からの部活動に関する指針をふまえた部活動活動方針を示し、部活動数・活動日数・活動時間についても適正化に向けて取り組んでいることです。この規定に則り、サッカー部につきましては、今年度から募集停止とし、残った部員は合同チームとして活動していますが、2年後に廃部となります。多くの生徒が各地域での各種のクラブチームに所属し活動をしていることから、部活動の社会体育化への移行も視野に入れ、学校部活動も様々な面で変革期を迎え変わっていています。文科省による「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」では、休日の部活動を地域へと移行していく計画もあり、全国的にそうした動きも広がっていることを受けた見直しを今後も続け、部活動数を現在ある14から2名以上の顧問配置のできる13以下にしていければと考えています。全ての子どもたちがそれぞれ希望する全ての競技や活動を部活動にというところから、学校の部活動の意義と限界を見定めた、行政や地域、保護者の方の協力の中でやりたいことを叶えていける体制への転換に向けて、どうか引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

〈生徒指導・学習・不登校・その他〉

◇R3いじめ、人権意識 や 生徒指導について

○生徒を取り巻く学習や生活環境が落ち着いた安全で安心な空間になるよう、生徒理解に努め日々の小さな変化にも担任をはじめ学年団の先生や多くの目で見守りしっかり受けとめれるよう努めています。また、日頃からからかいや冷やかし、SNSによる誹謗中傷といったいじめにつながることへの未然防止や早期発見、早期対応をはじめ、いじめ防止対策(里中のHPに掲載)に則ったアンケートや生徒の手による集会での活動で強くしなやかなこころづくり、内面づくりを行っています。とはいっても、学校だけでは気がつかないことや校外で目の届かないことなどもあります。どうか、地域の方々や保護者の皆様が気になったりお気づきになったりしたことなどありましたら、遠慮なく論し、ご注意くださり、ご連絡いただければ幸いです。地域と学校、保護者の方々と教職員が一体となって温かく見守り、子どもたちの健全な育成に努めていければと思っております。

◇個別(不登校)指導 について

○里庄中学校には、「こころの教室」という部屋があります。学校に来にくくなったりクラスに入りにくくなったりして、個別の配慮やケアが必要になった子どもたちへの、いわば一時避難的な、学校復帰、学級復帰のための部屋となっています。本人と保護者の方とで登校時間や在校時間、学習内容などを相談して決めて、徐々にみんなの中へと戻っていくための部屋といえます。そこには毎時間必ず持ち回りで担当の先生がついて見守っています。時には一時間だけのクールダウン(落ち着いて気持ちを静める)のために入室する生徒もいます。どの子も最終的には、学校生活の中へと帰っていきますし、それが目的の部屋で、みんなの中へと戻る足がかりをつくるための別室指導、個別対応の場所です。もちろん、学校や教室、学年やクラス、友達の中へともどっていけることへの様々な手立てや方法を検討し、今後もそうした子どもたちへの大切で必要な場所を目指していきたいと考えています。どうか、そうした子どもたちも学校では場所は違えども一緒に学んでいること、また様々な配慮と支援でがんばっていることをお知りおき頂き、ご理解ご協力をお願いしたいと思っております。

◇校則・きまり について

○校則につきましては、最近「ブラック校則」と言われマスコミにもよく取り上げられていますが、里中にも様々な学校の決まり、校則があります。制服や髪型をはじめ「持参する荷物」や「自転車通学許可」も、言えば校則に関わるものです。その一つひとつについては、毎年その都度担当や教職員全体で検討し、改善の必要なものについては、様々なことを考慮しながらより現実的で、子どもたちにもまた保護者の方々や学校にもよいものとなるよう見直しや改善を行っています。現在も、制服や名札について、ジェンダーフリーや人権といった視点から、また防犯的観点から、具体的な変更を検討しております。変更点がまとめ次第、生徒、保護者の皆様にはお知らせしていきたいと思っております。これからも子どもたちの声や保護者の方々の声をしっかり受けとめながら、様々な視点から「な

「なぜその校則やルール、マナーが必要なのか」をお互いに考え合い、見直せるものについては、生徒とともに建設的に検討改善していきたいと考えています。また、必要であれば保護者の方々のご意見をお聞きしたり、PTA代表の方々にご意見をお伺いしながら進めてもまいりたいと思っております。

変化の波は、学校を取り巻く様々な場面に及んでいます。「不易流行」で大切なもの必要なことは、しっかりと見定めながら、変化には柔軟に対応していきたいと思っております。どうか引き続き、里庄中学校の教育活動に、ご理解ご協力、またご支援をよろしくお願いいたします。

R3. 12. 24

以上簡単ですが、保護者の皆様からアンケートに寄せられました教育活動についてのご意見ご感想への回答とさせていただきます。全てのご意見やご感想にお答えすることはできませんが、回答できるものについてだけ回答させていただきました。また、ご意見ご感想の中には、多くのご支援や励ましのお言葉をいただきました。教職員一同、とても心温まる思いで、勇気づけられましたことを申し添えてお礼とさせていただきます。ありがとうございました。元気をいただきました。

なお、HP 掲載は3月いっぱいまでですので、ご了承ください。